

だんだん

放送大学島根学習センター
147号



2025年4月発行

〒690-0061

松江市白潟本町 43 スティックビル 4 階
☎0852-28-5500 fax0852-28-1800

✉shimane-sc@ouj.ac.jp



◆ 客員退任挨拶	2-3
◆ 客員新任挨拶	4-5
◆ 客員教員紹介	6
◆ 行事の報告	7-11
◆ 行事等の案内	12-13
◆ お知らせ	14-23
◆ 同窓会通信	23
◆ スケジュール	24



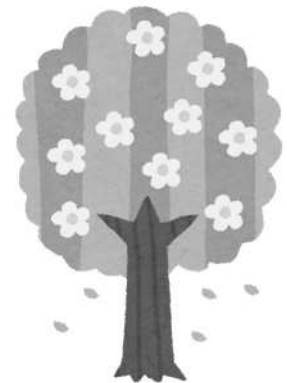
客員教員退任のあいさつ



客員教員 荒川 正晴（あらかわ まさはる）

早いもので、本年の3月をもちまして島根学習センターの客員教員を退任することになりました。センターの所長・教職員のみなさまには、これまで本当にいろいろとお世話になりました。私が本センターに着任したのは5年前の2020年4月で、四半世紀の長きにわたり奉職してきた大阪大学を定年退職した直後のことでした。ちょうど間の悪いことに、コロナ禍で最初の緊急事態宣言が出された時と重なり、当初はセンターに出向くこともありませんでした。ようやく仕事が再開したのは6月も末になったところで、緊張して学習相談と市民向けのセミナーを担当したことをよく覚えています。

それから一昨年度ぐらまでは、毎月のようにセミナーが開かれ、昨年度あたりからは放送大学の学生向けにゼミも始まるようになりました。とりわけセミナーは市民向けということがあり、大学で行ってきた教養講義をさらに一般向けの平易な内容に改めるのに相当に苦労しました。ただ毎回セミナーの準備をしていて痛感したのは、私の大学での講義が、説明が面倒なところは専門研究者が常用する表現をそのまま用いてかなり誤魔化してきたことでした。とくに古代史を専門とする私にとっては、専門外となる近現代史にそれは集中していました。たとえばイギリス帝国が「ヘゲモニー国家から帝國的な構造的権力へ」と変遷したといった具合です。大学ではこれで学生たちに説明した気になっていたのですから、いい加減なものです。ただ平易に噛み砕いて他者に説明することを通じて、これまで漠然とした理解でしかなかった近現代の世界の「姿」がかなりクリアになりました。本当にセミナーを担当して良かったと思っています。これからは、私の研究をまとめるための終活に入りますが、適当に息抜きしながら毎日を過ごしたいと願っています。専門違いの講演会にも聴衆の一人として参加したいと思いますので、みなさまとどこかでお目にかかる機会もあろうかと存じます。その折は、どうぞ気軽にお声がけください。





客員教員 大谷 みどり (おおたに みどり)

放送大学・島根学習センターからお声がけを頂き、わずか2年間で失礼してしまうことを大変申し訳なく思うと同時に、受講生の皆さんから多くを学ばせて頂いたこと、また事務の皆さんに丁寧にご対応いただいたことに、改めて感謝の意を表したいと思います。有難うございました。私の場合は、島根学習センターでは新しい形としての、ゼミのみで進めていくことになりましたが、ゼミを受講される皆さんの熱心さ・あくなき探求心には、本当に感心させられました。退職されても常に「知」への好奇心を持ち続け、新しいことに挑戦していらっしゃる姿勢には、私自身も多くを学ばせて頂きました。

人生100年時代ともいわれ、退職後の再就職や定年延長等、長寿化と共に社会のシステムも変わりつつあります。そのような中で、いくつになっても新しいことにチャレンジする姿勢は、健康とともに、是非とも大切にしていきたいと思うところです。同時に、皆さんの豊富な知識と体験を、もし機会があれば、若い世代に向けても役立てていただけたらと願います。教育現場はご存じの通り、教員不足が深刻化しています。皆さんの空き時間に、学校や放課後児童クラブ、また経済的に塾等に行けない子どもたちへの支援機関等で、皆さんの知識とご経験を活かしていただければと願います。私自身は大学からの再雇用の仕事が予想以上に忙しくなり放送大学を失礼してしまいましたが、完全定年後は、自分の学びと共に、誰かの学びに役立つことができたらと願っております。

2年間でしたが、大変お世話になりました。皆様のご健康と益々のご発展を、心よりお祈り申し上げます。



客員教員 尾崎 浩一 (おざき こういち)

新型コロナウイルスの感染拡大と新奇ワクチンの開発、生成AI技術の急速な進展、マスコミへの不信感の高まりとSNSの拡大など、過去5年間で世界は大きな変化を遂げてきました。この急激な環境変化は人々の不安や不満を膨張させ、世界的なポピュリズムの台頭を引き起こしています。そして、科学の一面である一般性、効率性に対する反感を顕在化しつつあります。しかし、こうした動きは人々の思考を単純化し、短期的かつ感情的な視点を助長するものであり、長期的には社会の分断と不安定化、平和への脅威をもたらす危険があります。人々がお互いの特性を認め合い、穏やかに生活するためには、やはり現象を客観的に捉えて理解するという科学的な思考が不可欠だと私は考えます。

放送大学の客員教員の職を、3月末をもって離れることになりました。この間、様々な経歴をお持ちの学生並びに市民の方々と巡り会い、語り合う機会を得ましたことは、私にとって極めて貴重かつ有意義な経験でした。そして、とても楽しい時間を過ごさせていただいたと改めて感じています。

在職中に担当した「ゼミ」や「だんだんセミナー」、「公開講座」の中で、私は生物学の面白さと同時に科学の重要性を伝えてきました。客観性に加え、「技術」は効率性を求めますが、「科学」がより重視するのは自然を感じ取る**感性**です。社会が現在向かっている方向は決して楽観できませんが、学生の皆さんには科学的思考を更に育み、冷静な判断に基づいて行動されることを期待しています。

最後に、島根学習センターの所長及び教職員の皆様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました！



客員教員新任のあいさつ

客員教員 大谷 修司 (おおたに しゅうじ)



みなさん、こんにちは。このたび4月から客員教員として勤めることになりました大谷修司と申します。よろしく申し上げます。子供のころは島根県益田市の清流高津川のそばで育ちました。その後広島で大学生生活をおくり、東京の国立極地研究所で南極生物の研究をしてきました。縁あって島根大学に赴任し、松江に居住するようになり約30年が経過しました。昨年までは島根大学教育学部で生物学を担当していました。

若いころの趣味は富士山や日本アルプスなどの登山でしたが、最近はハイキングや卓球、フォークギター演奏などです。

研究対象は顕微鏡的サイズの水田のミカツキモや湖沼の植物プランクトンなどで、大きさや形から種の名前をつけたり、藻類を試験管の中で培養して生活環の研究をしてきました。松江には宍道湖や中海があること、県庁所在地なのに20分も車で走ると、研究対象である藻類が多く生育しているたんぼや里山がたくさんあることが気に入っています。

大学では植物学専攻に所属していたので、授業で樹木や草も学習してきており、目で観察できる植物にも興味を持っています。島根大学の生物学演習では島根大学構内の植物観察を毎週実施し、生物学実験の材料はできるかぎり島根大学構内から採集しました。放送大学のゼミでは皆さんと放送大学周辺で植物を採集してそれらの花や葉の構造を、眼、ルーペや実体顕微鏡で観察したいと考えています。いっしょに楽しく学習や研究を進めていきましょう。



客員教員 武田 信明 (たけだ のぶあき)

初めまして、今年度から客員教授をつとめる武田信明です。どうぞよろしく申し上げます。

専門は、日本近代文学、分かりやすく言うなら明治から現代までの文学作品を研究しています。特に誰か一人の作家を追いつけるのではなく、幅広い時代の多くの作家を研究してきました。島根大学でも、夏目漱石、泉鏡花、谷崎潤一郎、江戸川乱歩、太宰治、岡本かの子、川端康成、三島由紀夫、安部公房、大江健三郎、村上春樹、吉本ばなな、小川洋子などの多くの作家を授業で対象としてきました。

小説を読むときに大事なことは、人それぞれの形で楽しみながら読むということです。ただ、小説は自由に読むことも可能ですが、一方で、どんな事に気を付けて読めばいいのかという「読み方」も存在するのです。小説作品は、ストーリーや会話だけでなく、色々な要素が複雑に組み合わせられて出来ている総合体です。それをいろいろな観点から「読み解く」方法を教えてきました。そこにそれを作った「作家」についての知識を加えるなら、さらに読み方は広がるでしょう。

あるいは、当たり前ですが、小説は「言葉」で書かれています。それぞれの作家が、それぞれの作品で言葉をどのように使っているのか、どのような表現で描写しているのか。これらに目をとめることでも、新鮮な発見があるのです。そのような文学を読むことのさまざまな楽しみを体験してください。





客員教員 中野 洋平 (なかの ようへい)

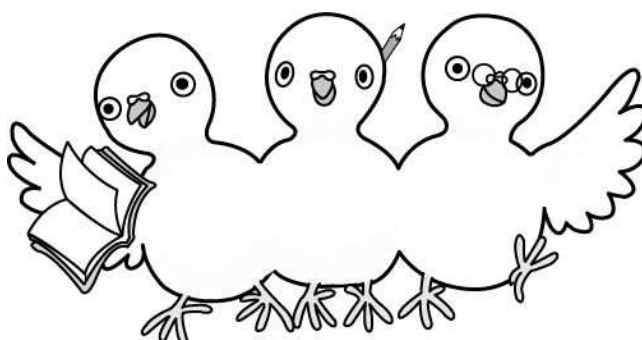


今年度から島根学習センターの客員教員としてお世話になります、中野洋平と申します。どうぞよろしく申し上げます。普段は松江市浜乃木の島根県立大学松江キャンパス人間文化学部にて勤めています。

私の専門は「民俗学」です。この学問は人文学のひとつで、「民俗」という視点で人間の在りようを考察するところに特徴があります。民俗という視点には諸説ありますが、基本的には「民＝人々」の「俗＝日常」を捉えることが出発点です。これまで、日本各地の風土に根ざし、人々の生活に伝承されてきた祭礼や年中行事、生業や民具についての研究が進められてきました。

現在の民俗学にはいくつかの研究分野があります。私が特に興味関心を寄せているのは、歴史民俗学、地域民俗学と呼ばれる比較的古典的な分野です。歴史民俗学というのは、民俗（あるいはその担い手たち）の歴史的変遷を考察するもので、私は巫女や神事舞太夫といった民間宗教者、芸能者について研究してきました。もうひとつの地域民俗学は、ムラやマチといった集落に注目しその土地に根ざした民俗の在りようを考えたり、特定の民俗の空間的広がりを考えたりするものです。最近では、風土と生業により形成されてきた文化的景観に興味があります。

島根学習センターではいろいろな民俗について、ぜひ皆さんと一緒にじっくりと探究していきたいと思います。



	<p>安齋有紀 客員准教授 ① 島根大学准教授 ② フランス語学</p>	<p>私たちが日常的に行なっている「対話」という言語活動に関心を持ち、フランス語と日本語を対照しながら、音声によるコミュニケーションに観察される様々な言語現象に着目した「話し言葉」の研究をしています。本務校の島根大学では、フランス語・文化関連の授業を中心に行なっていますが、言語文化圏によってなぜ「ことば」の使い方が異なるのか、複数の言語を対照することでそれぞれの言語の特徴がどのように見えてくるのかなど、「ことば」に関する素朴な疑問について学生とともに考えながら、対照言語学の面白さを伝えようと日々取り組んでいます。島根学習センターでは、フランスの文化や言語の魅力を楽しくお伝えしていきたいと思っております。</p>
	<p>大谷修司 客員教授 ① 島根大学名誉教授 ② 植物分類学</p>	<p>このたび4月から客員教員として勤めることになりました大谷修司と申します。よろしくお願ひします。昨年までは島根大学教育学部で生物学を担当していました。研究対象は顕微鏡のサイズの水田のミカヅキモや湖沼の植物プランクトンなどで、大きさや形から種の名前をつけたり、藻類を試験管の中で培養して生活環の研究をしてきました。島根大学の生物学演習では島根大学構内の植物観察を毎週実施し、生物学実験の材料はできるかぎり島根大学構内から採集しました。放送大学のゼミでは皆さんと放送大学周辺で植物を採集してそれらの花や葉の構造を、眼、ルーペや実体顕微鏡で観察したいと考えています。いっしょに楽しく学習や研究を進めていきましょう。</p>
	<p>千代章一郎 客員教授 ① 島根大学教授 ② 建築論</p>	<p>昨年度から客員教員を務めています。本務校の島根大学では、西洋建築史、日本建築史、現代建築論、都市計画論、建築都市空間論など、建築デザインについて幅広く授業をしています。研究室としては、近代建築のデザイン手法の研究に加えて、松江を対象とした研究にも取り組んでいます。最近では、松江の茶室・庭園などの実測、松江に多くの建築作品を建設した菊竹清訓の共同研究もしています。また一方で、こどもの建築教育などにも携わっています。島根学習センターでは、興味を持った建築作品について、いろいろな角度からじっくりと検証し、ディスカッションを通して、新しい「建築」の見方を発見できればと思います。</p>
	<p>武田信明 客員教授 ① 島根大学名誉教授 ② 日本近代文学</p>	<p>初めまして、今年度から客員教授をつとめる武田信明です。どうぞよろしくお願ひします。専門は、日本近代文学、分かりやすく言うなら明治から現代までの文学作品を研究しています。今回のゼミナールでは、まずは各自が読んで自由な感想を持つことを出発点とします。そして、私が「読み方」のヒントを提供しますので、これまでとは異なる様々な観点から小説を読んだり、考えたりするという体験もしていただきたいと思います。小説の読み方に正解はありません。しかも人それぞれ関心は異なります。他の人の感想を聞くことも楽しいですし、新しい読み方を知ることも楽しいでしょう。そのような「知的」な意味で楽しい時間にしたいと思います。</p>
	<p>中野洋平 客員准教授 ① 島根県立大学准教授 ② 民俗学</p>	<p>皆さん、はじめまして。今年度から客員教員となりました中野です。信州上田で生まれ育ち、大学からは京都・滋賀、2014年から松江で暮らしています。どんどん西に移動していますね。専門は民俗学で、特定の土地に根付いた民俗の歴史や地域の特徴を探究することに興味があります。島根学習センターでは皆さんと一緒に、時には地域へ飛び出しながら、さまざまな民俗について考えていきたいと思ひます。今年度のゼミでテーマにするのは、人々の営みによって形成された景観、「文化的景観」です。これを通して、人々の暮らしや歴史を紐解いていきましょう。</p>
	<p>村瀬俊樹 客員教授 ① 島根大学名誉教授 ② 心理学</p>	<p>乳幼児が、母語としての日本語を獲得する過程を中心に研究を行ってきました。また、ことばの獲得に関する日米比較研究に参加する中で、日本文化の中で形作られる「心」にも関心を持ち、他者の心を推測して自分の行動を調節する傾向がどのように形成されていくのかという研究にも取り組んでいます。放送大学で様々な年齢の方と「心」についてお話をさせていただき、「心」に対する関心の持ち方が、これまでおもに話してきた20歳前後の人たちと多少異なることに気づき、新たな研究テーマを得たように思ひます。皆様と一緒に、人の「心」のおもしろさを考えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。</p>

◆ 学位記授与式 ◆

令和6年度第2学期の学位記授与式を3月30日（日）スティックビル3階放送大学島根学習センター第1講義室にて開催しました。

学位記授与式には今回卒業された23名の卒業生のうち9名の方々が出席されました。所長挨拶に続き、この度、名誉学生となられた北垣幸久さんへの所長表彰が行われました。島根学習センターの名誉学生は10名となりました。出口所長の式辞の後、来賓の島根同窓会の竹下会長からご祝辞をいただきました。

卒業生を代表して岡本由起夫さんが感謝のことばを述べられ、厳粛な中にも華やかに式典が終了しました。授与式終了後、第2講義室にて同窓会主催の卒業を祝う会が開催され、卒業生からの感想や同窓会員からのねぎらいの言葉など、なごやかな雰囲気での懇談が行われました。

卒業生、修了生紹介

氏名等の掲載を了解された方々を五十音順に紹介します。（敬称略）

大学院文化科学研究科

石橋 直子【人文学プログラム】

遠藤 香菜子【人文学プログラム】

教養学部教養学科卒業

安達 良子【心理と教育コース】

伊藤 正人【生活と福祉コース】

岡 航輔

岡本 由起夫【自然と環境コース】

北垣 幸久【生活と福祉コース】

吉川 洋二【人間と文化コース】

周藤 清史

長尾 美和子【自然と環境コース】

宮脇 陽太【人間と文化コース】

山根 佳子【心理と教育コース】

山根 幸裕【社会と産業コース】

寄藤 淳【情報コース】

渡部 舟海【心理と教育コース】





所 長 式 辞

島根学習センター所長 出 口 顕

「三寒四温」や「暑さ寒さも彼岸まで」ということば以上に春分の日までの冬の寒さには厳しいものがありました。ようやく暖かくなり桜の開花宣言もされた今日、放送大学島根学習センター令和六年度第二学期の「学位記授与式」を、ご来賓の島根学習センター同窓会会長 竹下靖彦さま、客員教員の先生方ご列席のもと執り行うことができました。修了生卒業生の皆さま、本日は誠におめでとうございます。また、ご来賓の皆さまには就業制卒業生の門出の会にご臨席賜りありがとうございます。

今学期修了される修士3名、卒業される学士20名の皆さまは、入学された年度、在学期間はまちまちですが、コロナ禍の影響を様々な形で被ってこられました。そのため勉学を続けていく上でのご苦労は大変であったろうと察しますが、困難を乗り越え無事卒業を果たされた、その努力と熱意に改めて敬意を表したいと思います。

コロナ禍などのパンデミック、頻繁に生じる地震・豪雨・豪雪などによって、当たり前前の生活を送ることが如何にかけがえのないものであるかを、私たちは痛感するに至っています。日々の生活を守るためにリスクを未然に回避する、あるいは迫り来る危機を最小限に抑えるというリスク管理が今求められています。そのためにはどうするか。今まで以上に正しい情報を取捨選択する判断能力が必要になってきます。またリスクには天災だけでなく人災もあります。

中国の後漢時代編纂された歴史書『漢書』(かんじょ)の「刑法志」に次のような文章があります。「よく師する者は陳せず、よく陳する者は戦わず、よく戦う者は敗れず、よく敗れる者は滅びず」です。「うまく軍を動

かす者なら、布陣せずにことを解決する。しかし、その才がなく敵と対峙することになっても、うまく陣を敷ければ、それだけでことを解決できる。さらに、その才がなく実践となっても、うまく戦えば負けない。そして敗者になるとしてもうまく負ければ滅びることはない」という意味です。まさにリスク管理の古典とも言べき書ですが、今国外の情勢を見ると、当の中国も含めて「刑法志」の教えを無視したかのような事ばかり引き起こしています。歴史に学ばない知恵のない愚挙といわざるをえません。しかもそれは決して対岸の火事ではないのです。

ことばによるコミュニケーションと交渉や説得がまず大切であることを「刑法志」は伝えているように思えます。交渉によるリスク回避、そのためにはことばを使ってよく考えることが大切です。

みなさんが放送大学で学んだ知識は、天災・人災を直接回避解決する答えを与えてくれるものとは限りません。しかし学ぶと言うことを通じて様々な知識を身につけ論理的に考えるという力を皆さんは身につけてこられたはず。その能力をこれからもさらに活かして、皆さんの日常を維持するためにはどうすればよいかを繰り返し考えることを実践していただければと思います。

時代に流されない理性的思考を働かせて、ご自身や社会のよりよい今後を切り開いていかれることを願っています。

本日、学位記を受けられた皆さまにはこの期待をお伝えして私のお祝いの言葉とさせていただきます。本日は本当におめでとうございます。

卒業生代表あいさつ

教養学部教養学科 自然と環境コース
岡本 由起夫

春風の心地よい季節となり、桜の蕾もほころび始める今日この頃、私たち卒業生にとって特別な日を迎えることができました。本日、この学位記授与式において、卒業生を代表してご挨拶を申し上げます。機会をいただき、大変光栄に存じます。

私は、50年前に大学受験に挑戦しましたが、残念ながら志望校に進学することが叶いませんでした。そのとき、高校の担任の先生に「いつか必ず大学を卒業する」と約束しました。社会に出てからは、仕事や家庭を優先しながら過ごしましたが、私の学ぶことへの思いは消えることなく、いつか再び学問に向き合いたいという気持ちを持ち続けていました。

そして、令和3年4月、放送大学に入学しました。入学した頃はまだ仕事をしていて、仕事と学業の両立に不安を感じることもありましたが、放送大学は年齢や職業に関係なく、学ぶ意欲があれば誰でも学べる場を提供してくれる素晴らしい環境でした。

私が所属した「自然と環境コース」では、生物学や自然科学について幅広く学びました。さらに、放送大学と島根大学の単位互換協定を活

用し、異なる学びの場で新たな知識を得るとともに、学友と出会えたことも大変貴重な経験でした。こうした学びを通じて、視野が広がり、改めて学びの奥深さを実感しました。

本日、こうして無事に卒業を迎えることができたのは、先生方の熱心なご指導、島根学習センターの皆様のご支援、そして共に学んだ仲間が存在があったからこそです。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

また、今年は古希を迎え、9月には、かつての学友たちとの同窓会を開催する予定です。50年という長い年月を経て、こうして学び続けることができたことを改めて実感し、生涯学習の意義を深く感じております。

卒業はゴールではなく、新たなスタートです。これからも学び続け、得た知識を社会に生かしていきたいと思っております。そして、隣席の皆様、在学生の皆様、並びに放送大学の関係者の皆様の今後ますますのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げ、卒業生代表の挨拶とさせていただきます。



卒業生、修了生からの言葉

出欠の返信にて、「卒業にあたっての感想」を記入していただいた方々を到着順で紹介します。



山根 佳子さん

楽しく学ばせていただきました。先生方、職員の皆様、本当にありがとうございました。

渡部 舟海さん

卒業までの期間が10年ということから入学しましたが4年で単位を取得することができました。放送授業の中で覚えるのではなく理解することを知り、授業に興味をわいたことにより取得できました。これからも続けます。ありがとうございました。

宮脇 陽太さん

やっと卒業にたどり着くことが出来ました。支えてくれた家族、放送大学の先生方、職員の皆さん、ありがとうございました。知ることの喜びを学びました。感謝します。

(匿名の方)

興味のある分野からたくさんのことを学んで考えが深まり、得難い日々を過ごすことができました。講師の方々、職員の皆様、ありがとうございました。

北垣 幸久さん

現役退職後、選科で1年、全科で14年、おかげさまで6コース目を卒業することができました。長年にわたりご指導いただきました先生方、そして支えてくださった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今後も生涯学習の精神を胸に、学び続けていきたいと思っております。

吉川 洋二さん

“勉学は終生の友” これは私が若い頃、近所に住むある社長さんから教わった言葉です。先生方、職員の皆様、本当にありがとうございました。

寄藤 淳さん

ITに興味があり情報コースで知識や技術を学び卒業になりました。これからも何らかの形で学び続けていきたいです。

長尾 美和子さん

20年かかってやっと4コース終了となりました。予定通り進まず長期間になりました。次、5コース目を継続します。

(匿名の方)

大学を中退してそのままだったため、無事に卒業できて良かったです。

(匿名の方)

2度目の卒業となりましたが、認定心理士資格を目指して継続入学することにしました。また、宜しくお願い致します。

安達 良子さん

何回目(4?)かの卒業をしました。もう卒業は無理と思いますが、再入学することにしました。

石橋 直子さん

育休中に念願の修士号を取得しました。学ぶこと、研究することの楽しさに立ち返り、人生が豊かになった思いがいたしました。ありがとうございました。

山根 幸裕さん

このたび3コース目の卒業になります。4月からは4コース目にチャレンジです。学ぶことにやみつきになっています(笑)。これからもマイペースでがんばります。

遠藤 香菜子さん

指導教官の手厚いサポートのおかげで修論を仕上げることができました。今後も研究を楽しく続けていきたいです。

◆ 入学者の集い ◆

3月30日（日）、令和7年度第1学期の「入学者の集い」と「入学者ガイダンス（学友会との共催）」を行い、新入生26名の出席がありました。「入学者の集い」には、来賓の島根大学大谷浩（おたにひろき）学長からのご挨拶と村瀬客員教員からのご挨拶をいただきました。入学者ガイダンス、オリエンテーション（学習の進め方等の説明）の後、学友会の藤嶋会長からのオンラインによるアドバイスや、先輩の体験談などを聞き、新入生はリラックスしながら、熱心にメモを取る姿もありました。

新入生の皆様には、今後の大学生活が有意義なものになりますよう、職員一同支援いたします。



行事の案内

公開講演会

公開講演会を以下のとおり開催します。

「島根の建築：古代と現代建築とのつながり」

講師 千代 章一郎氏 放送大学島根学習センター客員教授・島根大学教授

開催日 5月31日(土) 14:00 ~ 15:30

場所 出雲市役所くにびき大ホール



建築の歴史はつねに時代や文化の最先端の地で繰り広げられます。古代ギリシア・ローマではポリスに神殿やモニュメントが建立され、日本では京の地に貴族の神殿造建築が造営されました。周知のように、古代出雲地方もまた文化の最先端の地でした。出雲大社はその建築としての象徴です。現代ではどうでしょうか。古代出雲の遺伝子は現代まで引き継がれています。古代から現在まで、連綿と続く建築の歴史の不思議について、解き明かしていきたいと思います。

岩石と鉱物の世界「とっておき（隠岐）のヒスイの話」

講師 高須 章氏 島根大学名誉教授

開催日 6月28日(土) 14:00 ~ 15:30

場所 隠岐の島町図書館

日本の国石である翡翠(ひすい)は希少な鉱物であり、美しい緑色のものは宝石として高く評価されています。今回の講演では、翡翠の鉱物学的特性や地下での形成条件を科学的に解説するほか、日本では縄文時代に始まる「世界最古のヒスイ文化」についても紹介します。また、私が収集した日本各地や海外で産出する翡翠を展示し、本物の翡翠の原石や加工品を手にとってご覧いただけます。講師と参加者、また参加者同士で翡翠をテーマに交流しながら、魅力あふれる鉱物の世界に触れる貴重な機会となるでしょう。どなたでも気軽にご参加ください。お待ちしております。

2025年10月入学に向けた「入学説明会・相談会」

2025年10月入学の出願受付期間は6/10~9/11の予定です。

入学説明会・相談会のうち、7月までの予定は次のとおりです。

- | | | |
|-------|--------------------|---------------------------|
| ○松江会場 | 6月22日(日) 10時~、14時~ | 島根学習センター |
| ○出雲会場 | 7月6日(日) 13時~ | 出雲中央図書館 |
| ○益田会場 | 7月26日(土) 14時~ | 益田市立図書館 |
| ○浜田会場 | 7月27日(日) 10時~ | 県西部社会教育研修センター
(いわみ~る内) |

島根大学との双方向「単位互換制度」説明会

単位互換制度とは、大学間で単位互換協定を締結し、他の大学等で修得した単位を所属する大学の修得した単位として認定する制度です。

島根学習センターでは、島根大学と双方向「単位互換協定」を締結しています。

1. 出願資格

単位互換校の授業科目を履修できるのは、次の3つの要件をすべて満たしている者で、単位互換校へ通学可能な学生を募集の対象とします。

- (1) 出願時、履修時及び単位認定時に全科履修生である者
- (2) 出願時に本学の在学年数が通算1年以上の者
- (3) 出願時に放送授業科目において30単位以上を修得している者

2. 履修できる授業科目


島根大学	
受講可能科目	原則として医学部を除く島根大学の全ての授業科目が受講可能です。
受講料	1単位当たり 5,500円 (1科目2単位:11,000円)
単位互換校の所在地	【松江キャンパス】松江市西川津町1060番地 法文学部、教育学部、人間科学部、総合理工学部 材料エネルギー学部、生物資源科学部

3. 出願から学習修了までのスケジュール

事項	日程		備考
	第1学期	第2学期	
出願相談 申請書類の提出	～1月中旬	～7月中旬	相談窓口・提出先： 島根学習センター
特別聴講学生 受入決定の通知	3月下旬	9月下旬	島根大学から本人 に通知
講義の履修	4月～9月	10月～翌年3月	場所：島根大学
単位認定試験の受験	(履修科目の担当教員の指示を受けてください)		場所：島根大学
成績通知	9月中旬	翌年3月中旬	島根大学から本人に 通知
単位の認定	10月上旬	翌年4月上旬	修得した単位を本学 の単位として認定

4. 2025年度第2学期の単位互換制度説明会を下記のとおり開催します。

日時	2025年6月24日(火) 14:00～15:00
場所	島根学習センター 第2講義室

・要予約 島根学習センター Tel 0852-28-5500  shimane-sc@ouj.ac.jp



お知らせ

◆島根学習センター機関紙の WEB 配信について◆

これまで印刷物を年 4 回郵送・配布してまいりました機関紙「だんだん」は、次号（7月発行）から、原則 Web 配信のみに変更いたします。

何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

変更後は、島根学習センターWebサイト（お知らせ）に掲載いたします。

また、当面の間は、窓口にも印刷物を配架することといたします。（必要な方はお取りください。）ご不明の点は、当学習センターまでお問合せください。

◆『学生生活の栞』・『利用の手引き』（冊子）◆

『学生生活の栞』は本部より送付したA5版の冊子です。みなさんが放送大学で学ぶにあたってその方法、留意事項、諸手続き等について記してあります。

勉学を順調に進めるために、最初にまず通読して全体を理解し、必要に応じて関係事項を参照してください。また、巻末に各種届（願）出の様式があります。

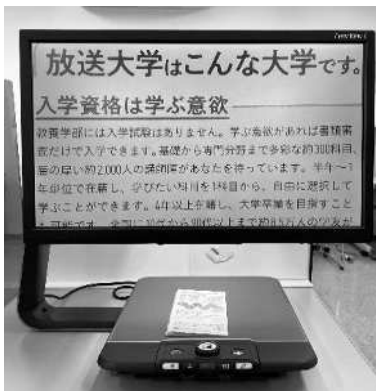
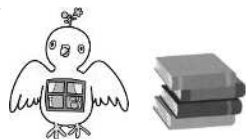
『利用の手引』は、島根学習センターが発行している冊子です。島根学習センターの利用方法、学習方法、諸手続きの方法等について掲載していますのでご一読ください。



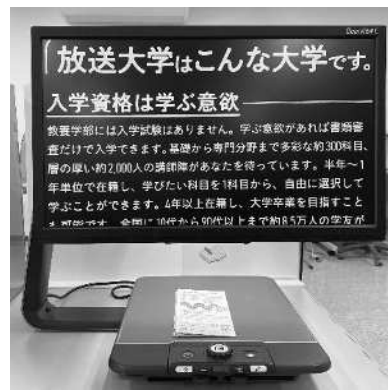
◆図書・視聴室からのお知らせ◆

拡大読書器を設置しました！

拡大読書器は図書や新聞などの文字を拡大してモニターに写したり、文字色を反転させたり、色を変えて見ることができます。ぜひご活用ください。



《通常モード》



《反転モード》

◆所長・客員教員推薦図書のご紹介◆

図書・視聴室に配架しました。ぜひ日頃の学習にお役立てください。

- ・社会心理学・再入門 JR スミス 他編/樋口匡貴 他監訳/新曜社
- ・心理学概論アップデート 天谷裕子 他編著/ミネルヴァ書房
- ・日本語に生まれること、フランス語を生きること 水林章 著/春秋社
- ・市民のための歴史学：テーマ・考え方・歴史像 桃木至朗 著/大阪大学出版会
- ・文房具の考古学：東アジアの文字文化史 山本孝文 著/吉川弘文館

◆ 学習相談のお知らせ ◆

学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について、客員教員等による対面またはオンライン方式で学習相談を実施します。学習相談表に相談内容を記入し、相談日の3日前までにご提出ください。(電話、メールでの申込みの場合は希望日時、相談内容等をお伝えください)

■相談時間 お1人1時間以内

■学習相談表は窓口、島根学習センターウェブサイトにてWordとPDFファイルを用意していますのでご活用ください。



教員名 (専門分野)	学習相談日	
安齋有紀 (フランス語学)	4月	17日(木) 9:30~12:30
	5月	8日(木) 9:30~12:30
		15日(木) 9:30~12:30
	6月	12日(木) 9:30~12:30 19日(木) 9:30~12:30
大谷修司 (植物分類学)	4月	18日(金) 9:30~12:30
		23日(水) 9:30~12:30
	5月	20日(火) 9:30~12:30
		27日(火) 9:30~12:30
6月	10日(火) 9:30~12:30 24日(火) 9:30~12:30	
千代章一郎 (建築論)	4月	15日(火) 9:30~12:30
	6月	3日(火) 9:30~12:30
武田信明 (日本近代文学)	4月	16日(水) 13:00~16:00
		23日(水) 13:00~16:00
	5月	21日(水) 13:00~16:00
		28日(水) 13:00~16:00
6月	18日(水) 13:00~16:00 25日(水) 13:00~16:00	
中野洋平 (民俗学)	4月	15日(火) 14:00~17:00
		17日(木) 13:00~16:00
	5月	8日(木) 13:00~16:00
		29日(木) 13:00~16:00
6月	12日(木) 13:00~16:00 26日(木) 13:00~16:00	
村瀬俊樹 (心理学)	4月	12日(土) 13:15~16:15
		18日(金) 13:15~16:15
	5月	9日(金) 13:15~16:15
		16日(金) 13:15~16:15
6月	6日(金) 13:15~16:15 14日(土) 13:15~16:15	
出口顕 (文化人類学)	随時(出勤日)	

【問合せ】放送大学島根学習センター ☎0852-28-5500/fax0852-28-1800 ✉shimane-sc@ouj.ac.jp

◆ 通 信 指 導 ◆

参照 「学生生活の葉」 教養学部 P67～72 大学院 P72～77

通信指導は、Web 通信指導による提出（郵送提出科目を除く）となります。放送授業が行われる科目および一部のオンライン授業科目について、各学期の途中に1回、前半の一定の範囲で出題されます。提出型問題の解答を提出し合格すると、単位認定試験の受験資格が得られます。期限後の提出や未提出は、評価対象になりませんので注意してください。詳細について、「学生生活の葉」（冊子）をご覧ください。

●提出期間

○Web 通信指導による提出の場合

2025年5月8日（木）10:00～5月28日（水）17:00

○郵送による提出の場合（郵送提出科目、Web 通信指導による提出が困難な場合）

2025年5月14日（水）～5月28日（水）必着



◆ 履 修 相 談 ◆

科目の選び方、資格についてなど分からないことがあれば、当センターで「履修相談」を受けることができます。相談は予約制ですので、お電話等でお申込みください。すでに予約が入っている場合など、ご希望の日時にお受けできないこともございますのでご承知おきください。



◆ 卒 業 研 究 ◆

卒業研究は、教養学部全科履修生を対象とした選択科目(6単位)です。教員と直接ふれあうことの少ない放送大学において、卒業研究は指導教員から直接指導を受けることのできる、またとない機会です。あなたも、卒業研究で主体的に学習する喜びを実感してみませんか。

（申込期間） 8月の所定期間内（要確認）

（履修期間） 申込翌年4月から1年間

（対象者） 全科履修生として2年以上在学しており、62単位以上の単位を習得されている方

※申請条件、対象者の特例等がありますので、詳細は「卒業研究履修の手引」をご参照ください。

2026年度の卒業研究履修（2025年度申込）に向けた案内冊子：「2026年度卒業研究履修の手引」は、2025年6月頃公開予定です。

※卒業研究履修を希望される方を対象として例年実施しておりました「卒業研究履修希望者ガイダンス」を本年度は開催しませんが、卒業研究履修をお考えの方には個別でご相談に応じます。

卒業研究を履修してみたい方、今すぐは履修できないが履修に向けて準備を進めたいという方、まずは学習センター窓口までご相談ください。

◆Web 単位認定試験・体験会◆

参照 「学生生活の葉」 教養学部 P72～82 大学院 P77～86

重要!!

2025年度第1学期から、大学院の単位認定試験(自宅受験)はWebカメラによる本人確認を実施する予定です。

4月中旬以降に本部からメールや学内連絡で詳細のお知らせがありますので必ずご確認ください。

参照：2025年度第1学期大学院「科目登録申請要項」P9

※2025年度第1学期入学生は大学院修士選科(科目)生「学生募集要項」P5

○単位認定試験



単位認定試験は、Web受験方式により実施します(郵送受験方式の科目を除く)。自宅等からインターネットを通じて、Web単位認定試験システムにアクセスして受験します。試験期間中いつでも受験可能ですが、1科目50分の制限時間があり、各科目1回のみ受験可能です。実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、単位認定試験前までに必ず体験版の操作を行ってください。

●提出期間

試験の出題形式により試験期間が異なりますのでご注意ください。

・択一式科目：2025年7月16日(水)9:00～7月24日(木)17:00

・記述式・併用式科目：2025年7月16日(水)9:00～7月20日(日)17:00

・郵送提出科目：2025年7月16日(水)～7月20日(日)〈必着〉

○単位認定試験操作体験会

要申込(予約制)

操作体験会を下記の予定で実施します。事前に島根学習センター窓口またはメールでお申込みください。(各回 定員3名)

- ・島根学習センター 第2講義室(4F)
6月21日(土)、6月27日(金)、7月5日(土)
10時～11時 14時～15時
- ・浜田市 いわみーる3F(島根県西部社会教育研修センター)
7月9日(水) 11時～12時、13時～14時

※各開催日3日前までに、島根学習センター窓口または電話でお申込みください。
TEL：0852(28)5500



◆ 面接授業 ◆

参照 「学生生活の葉」教養学部 P40～43

面接授業は、学習センターなどで他の学生と一緒に講師から直接指導を受ける、教養学部の授業形態です。放送授業では経験できない実験・実習の授業を多数開講しています。全科履修生だけでなく、選科履修生・科目履修生も履修できます。

■ 面接授業の単位

面接授業で習得できる単位数は、1科目あたり1単位です。

■ 面接授業の実施時間帯

島根学習センターの実施時間は以下の通りです。学習センターにより異なる場合があります。

1日目		2日目	
時限	時間	時限	時間
1時限	9:50～11:20	1時限	9:50～11:20
2時限	11:30～13:00	2時限	11:30～13:00
昼休憩 60分		昼休憩 60分	
3時限	14:00～15:30	3時限	14:00～15:30
4時限	15:40～17:10	4時限	15:40～17:10

(試験・レポート等 16:25～17:10)

■ シラバスについて

授業の内容説明だけでなく、受講に際しての注意事項なども多く記載されています。科目登録、授業の受講に際しては、放送大学ウェブサイト「面接授業」ページより、各授業科目のシラバスを必ずご確認ください。

<シラバスでお知らせしている内容>

■ BYOD 科目

原則として受講者ご自身でパソコン等の持参が必須となっている科目です。科目によって、必要なパソコン等端末の種類（パソコン、タブレット等）や必要なソフトウェアなど、様々な確認事項があります。無線 LAN（Wi-Fi）利用申請が必要な授業もあります。シラバスをご確認ください。

■ 教科書

受講に際して必要な図書（授業当日必ずご持参いただくもの）を「教科書」としています。事前に各自でご用意をお願いします。

■ 受講者が当日用意するもの

当日授業に必要なものを記載しています。記載のない授業もありますが、受講に先立ち必ずご確認ください。

■ その他（特記事項）

受講に際して必要となる参加費、保険加入（次項目にて説明します）などが記載されています。

■ 学生教育研究災害傷害保険への加入

授業概要の「その他（特記事項）」に、「学生教育研究災害傷害保険」加入の記述がある面接授業を受講する場合は、受講する前日までに最寄りの学習センターまたはサテライトスペースで加入の手続きを行ってください。

詳細は、「学生生活の葉」教養学部 129～130 頁をご覧ください。（既に参加している方は、手続きの必要はありません。）

◆面接授業の追加登録について◆

学期開始後でも、空席がある科目のみ追加登録を行うことが可能です。

2025年度第1学期の面接授業追加登録方法は、以下の通りです。

スケジュール		方法
空席発表	4月11日(金) 15時	空席のある科目と人数をシステム WAKABA で発表
① 事前申請受付	空席発表から 4月16日(水) 13時10分まで	開設する学習センターのウェブサイトまたは窓口で、面接授業の追加登録を申請
抽選	4月17日(木)	事前申請のあった面接授業の抽選の結果、当選者にはキャンパスメール(学生番号@ouj.ac.jp)で連絡
(事前申請当選者) 授業料納入	4月24日(木) まで	当選した面接授業を実施する学習センターに授業料納付
② 先着申請受付	4月17日(木) 15時以降	事前申請で満席とならなかった場合、先着順で申込を受付けます。→原則、開催日の7日前まで(科目ごとに期限日が決まっています)開設する学習センターへお申し込みください。

■島根学習センターで実施する面接授業の追加登録方法

① 事前申請受付:4月11日(金)15時~4月16日(水)13時10分

A. ウェブサイトからの申請

島根学習センターウェブサイトの「お知らせ」欄から、入力フォームへアクセスし、必要事項を入力してください。

B. 学習センター窓口での申請

「追加登録申請書」に必要事項をご記入し、学習センター窓口へ提出してください。

※郵送の場合は4月16日(水)午前必着です。昨今の郵送事情から配送が遅れることが予想されますので、ウェブサイトからの申請を推奨します。)

★当選の連絡(キャンパスメール)が来たら、

◇授業料納入:4月24日(木)17時(必着)

以下の(1)または(2)いずれかの方法で授業料を納入してください。

(1) 学習センター窓口へ①~③を持参

{①学生証、②授業料(当選メールにてお知らせした金額)、③追加登録申請書}

(2) 現金書留で①~④を同封し郵送

{①学生証のコピー、②授業料(当選メールにてお知らせした金額)、③追加登録申請書、④返信用封筒(宛先明記、110円切手貼付)}

② 先着申請受付:4月17日(木)15時以降

a. 学習センター窓口での申請(学習センター窓口へ①~③を持参)

{①追加登録申請書、②学生証、③授業料(1科目6,000円)}

b. 郵送での申請(現金書留で①~④を同封し郵送)

{①追加登録申請書、②学生証のコピー、③授業料(1科目6,000円)、④返信用封筒(宛先明記、110円切手貼付)}

窓口受付時間【月・祝日を除く】9時30分~17時30分

2025年度1学期 ゼミのお知らせ

島根学習センター客員教員によるゼミ（学習会）を開催します。ゼミとは客員教員が、専門分野のテーマに沿って開講する、少人数・双方向型の学習会です。講義を聴講するだけでなく、教材をもとに質疑応答を交えながら学習を深めていきます。学生同士、学生と先生方とのディスカッション等により、コミュニケーション能力（発表および議論の仕方やマナー）、理解力、考え方なども身につけることができます。卒業研究の履修を希望する学生にはお勧めです。みなさまの積極的な参加をおまちしています。


- ・対象者：島根学習センター所属学生（学生の種類は問いません。ただし休学者は除く）
- ・受講料：無料
- ・単位取得：なし
- ・申込方法：同封のチラシをご覧ください。



言語と文化—言語を対照する—

安齋有紀 客員准教授

このゼミでは、フランス語と日本語を中心に、様々な言語を「対照」することで、それぞれの言語の特徴や言語と文化の関係について考えます。そこから、外国語を学ぶヒントも探っていきます。フランス語の知識は不要です。受講生には、これまで外国語を学ぶ中で疑問に思ったことについて発表していただきます。

木曜日 10:00~11:30 (定員8名) 4/24、5/29、6/26、7/31、8/28、9/25 



自然から学ぶ：身近な植物を観察しよう

大谷修司 客員教授

皆さんが友人や先生方の顔と名前を覚えることで、お互いの関係が深まっていくように、身の回りの植物も名前を覚えることが、植物を身近に感じる第一歩です。また、名前を知ることによって、花の形や咲く時期などにも次第に興味が出てきます。毎回野外に出て植物を肉眼だけでなくルーペや顕微鏡で精緻なつくりを観察しましょう。皆さんには植物の特徴をメモしたり花や葉をスケッチしてカードを作成しファイルとして持ち帰っていただきます。

火曜日 10:30~12:00 (定員10名) 4/25(金)、5/13、6/17、7/15、8/19、9/16

※初回のみ金曜日開催

※ゼミ参加日の前日までに学生教育研究災害傷害保険への加入が必要です。(保険期間 6年/100円)

建築の歴史

千代章一郎 客員教授

現代の建築は、どんな斬新な建物であっても、長い時間をかけて築かれた歴史的な蓄積に基づいてつくられています。そんな建築の歴史を少しずつ学びながら、日本に限らず世界の素晴らしい建築の歴史の世界を味わってみたいと思います。

火曜日 9:30~11:00 (定員10名) 5/20、6/10、7/29、8/26、9/30





「現代小説」を読む

武田信明 客員教授

現代女性作家の小説を半年1冊のペースで読んでいきます。今期は小川洋子「ミーナの行進」(中公文庫)を皆さんと一緒に読み進めていきます。テキストは各自用意しておいてください。新本、古本あるいは図書館で借りるなど何でも結構です。まずは各自が自由に読むことから始めます。各自の素朴な感想が出発点です。そして、小説には「読み方」のポイント(方法)がありますので、それらを提示します。参考にしながら、いろいろな観点から深く読んでみましょう。一つの小説に関して、読者によっていろいろな異なる感じ方があり、いろいろな読み方があるのだということを体感していただきます。意見交換の他、簡単な発表(レジュメ)もしていただきます。

水曜日 13:30~15:00 (定員10名) 4/30、5/7、6/4、7/2、8/6、9/3

フィールドから学ぶ民俗学：文化的景観を読み解く 中野洋平 客員准教授

このゼミでは、私たちの眼前に広がる日常的な世界から民俗学を学ぶことを目的とします。2025年度第1学期は「文化的景観」をテーマにしたいと思います。文化的景観とは人間の営みによって形成された空間を指します。それを読み解くことで、地域に刻まれた人々の暮らしや生業活動等の理解につなげることができます。

ゼミ前半では島根学習センター周辺の地域を巡検しながら、文化的景観を読み解く基礎的な学習をします。後半では、参加者各自が任意の文化的景観を選定して読み解いていき、最終回で発表します。

木曜日 13:30~15:00 (定員10名) 4/24、5/22、6/19、7/31、8/28、9/25

※ゼミ参加日の前日までに学生教育研究災害傷害保険への加入が必要です。(保険期間6年/100円)



実験・調査を通して知る 心の仕組み

村瀬俊樹 客員教授

心理学が対象とする「心」には、感情的側面だけではなく、認知的側面、行動的側面が含まれます。「心」は人による違いもありますが、多くの人に共通する法則性もあります。様々な実験や調査を工夫して、その法則性を明らかにしようとするのが心理学の研究です。このゼミでは、認知・行動面を中心に、感情面を含めて、実験や調査で得られたデータをもとに、多くの人に共通する「心」の法則性について考えます。各参加者の関心と教員の守備範囲をすり合わせてテーマを決定し、参加者の皆様にテーマに関して発表をしていただきます。教員がファシリテーター(司会者)となって、発表者と他の参加者(聞き手)の皆様で話し合いを行い、それぞれの立場で考えを深めていただけるようにしたいと思います。

水曜日 10:30~12:00 (定員10名) 4/23、5/28、6/25、7/30、8/27、9/24

◆ システム WAKABA ◆

参照 「利用の手引き」P12～13

「学生生活の栞」 教養学部 P27～29、P113～115 大学院 P40～42、P113～115

放送大学では学修をサポートするため、インターネットを利用した各種システムを提供しています。このうち学生の皆さんがよく使われるのが「システムWAKABA」です。

システム WAKABA の操作方法等、お困りごとがありましたらお気軽にご相談ください。

放送大学ウェブサイト (https://www.ouj.ac.jp) からシステム WAKABA にログイン



PC版：画面上部ヘッドメニュー
 >在学生 (WAKABA)



スマートフォン：画面右上メニュー
 >在学生 (WAKABA)



ログインIDは学生番号からハイフンを除いた10桁の数字です。パスワードは個人で設定したパスワードです。
 新入生のログインID・パスワード入学許可証に記載されています。初回ログイン時は、必ず、パスワード変更URLから、パスワード変更を行ったのちログインしてください。
 ※パスワードを初期化した場合の初回のログイン時も同様です。

パスワード設定条件

- ・8文字以上
- ・英字(大小は問わず)を1文字以上、数字を1文字以上含める
- ・ログイン名は含めない

◆西部地域にお住まいの学生のみなさまへ（浜田・益田コーナー）◆

島根県西部地域に居住する学生も容易に放送教材の視聴、貸出が利用できるように浜田市と益田市に再視聴施設があります。お近くの方はご利用ください。なお、利用時間、利用内容については「利用の手引き」（18頁、19頁）をご覧ください。

浜田コーナー

島根県立西部社会教育研修センター内
（いわみーる3階）



益田コーナー

益田市立図書館内
（カウンターでお問い合わせください。）



- ★全ての科目を配架してはおりません。浜田・益田コーナーでの視聴を希望する場合は、履修している授業科目の放送教材が配架されているかを、各コーナーまでお問合せください。ない場合は配架を依頼するかパソコンで視聴してください。
- ★西部履修相談について（予告）・・・8月21日（木）（益田）、22日（金）（浜田）で行う予定です。詳しい日時は次号の『だんだん』でお知らせいたします。

島根同窓会通信 (49)

2025年4月現在 会員数70名

第13回市民公開講座の開催案内
講師からのメッセージ

10月からラフカディオ・ハーンと妻小泉セツの夫婦関係に焦点をあてた、NHK朝ドラ『ばけばけ』が始まります。

その二人の仲立ちをした西田千太郎（島根県尋常中学校同僚）にも注目します。

小泉八雲の文脈から取り上げられることの多かった西田千太郎をメインにお話します。

千太郎が残した日記や雑賀町の旧居から見つかった千太郎関係資料を活用しながら、幕末から明治中期の激動の時代を生きた松江の一青年の姿を追いかけます。

併せて小泉八雲夫婦との交流、旧居の保存活動などについても紹介します。

第13回通常総会の開催案内

引き続き15:00より同一会場にて第13回通常総会を開催します。今回の主題は活動計画と予算に加えて、会則の一部改定と任期満了の役員改選です。在学生の皆さん、同窓会員の皆さん多数の参加をお待ちしています。

放送大学島根同窓会

第13回通常総会開催案内

第1部 第18回市民公開講座開催

日時 2025年5月10日(土)
13:30~15:00
会場 放送大学島根学習センター
「4階第2講義室」
松江市白湯本町43(STICビル)
(電話:0852 28 5500)

演題 「ラフカディオ・ハーンが出会った 松江の人々」
～小泉セツと西田千太郎を中心に～

10月からNHK朝ドラ『ばけばけ』放映開始の小泉セツと尋常中学校同僚の西田千太郎の新たに発見された関係資料日記・保存された旧居の保存活動について紹介します

講師 宮澤 文雄先生（島根大学法文学部准教授）

第2部 第13回通常総会開催

日時 2025年5月10日(土)
15:00~16:00
会場 島根学習センター
「4階第2講義室」

議題 ①2024年度事業報告
②2024年度決算・同監査報告
③2025年度事業計画(案)
④2025年度予算(案)
⑤会則一部改定(案)
⑥役員改選(案)

主催・放送大学島根同窓会

スケジュール

【ゼ】ゼミ 【相】学習相談 ●面接授業

4月		
日	曜	行事
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	閉所日
8	火	
9	水	図書視聴室閉室
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	閉所日
15	火	【相】千代 【相】中野
16	水	【相】武田
17	木	【相】安齋 【相】中野
18	金	【相】大谷 【相】村瀬
19	土	●リスクコミュニケーション論 ●「嘘」についての哲学・倫理学
20	日	
21	月	閉所日
22	火	
23	水	【ゼ】村瀬 【相】大谷 【相】武田
24	木	【ゼ】安齋 【ゼ】中野
25	金	【ゼ】大谷
26	土	●地域密着型のまちづくり ●日本神話と出雲神話
27	日	
28	月	閉所日
29	火	閉所日
30	水	【ゼ】武田

5月		
日	曜	行事
1	木	
2	金	
3	土	閉所日
4	日	閉所日
5	月	閉所日
6	火	閉所日
7	水	【ゼ】武田
8	木	【相】安齋 【相】中野
9	金	【相】村瀬
10	土	
11	日	●河川地形と人間活動：斐伊川の例
12	月	閉所日
13	火	【ゼ】大谷
14	水	図書視聴室閉室
15	木	【相】安齋
16	金	【相】村瀬
17	土	●健康スポーツ ●生活に活かすデザイン基礎
18	日	
19	月	閉所日
20	火	【ゼ】千代 【相】大谷
21	水	【相】武田
22	木	【ゼ】中野
23	金	
24	土	
25	日	●福祉経済論
26	月	閉所日
27	火	【相】大谷
28	水	【ゼ】村瀬 【相】武田
29	木	【ゼ】安齋 【相】中野
30	金	
31	土	●英語リスニング初級

6月		
日	曜	行事
1	日	●英語リスニング初級
2	月	閉所日
3	火	【相】千代
4	水	【ゼ】武田
5	木	
6	金	【相】村瀬
7	土	
8	日	
9	月	閉所日
10	火	【ゼ】千代 【相】大谷
11	水	図書視聴室閉室
12	木	【相】安齋 【相】中野
13	金	
14	土	【相】村瀬
15	日	●現代日本の安全保障と同盟
16	月	閉所日
17	火	【ゼ】大谷
18	水	【相】武田
19	木	【ゼ】中野 【相】安齋
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	閉所日
24	火	【相】大谷
25	水	【ゼ】村瀬 【相】武田
26	木	【ゼ】安齋 【相】中野
27	金	
28	土	
29	日	●東南アジアの文化と社会
30	月	閉所日

開所時間 9:30~17:30

放送大学島根学習センターの職員を紹介します。どうぞよろしくお願いいたします。

所長 出口 顕 事務長 平野 英夫

事務職員 渡辺（総務・広報） 浜田（教務） 船越（総務・会計） 坂根（教務） 森脇（学生・教務）